

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 12 月 2 日 (2005.12.2)

【公開番号】特開 2005-278873 (P2005-278873A)
 【公開日】平成 17 年 10 月 13 日 (2005.10.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-040
 【出願番号】特願 2004-96784 (P2004-96784)
 【国際特許分類第 7 版】

A 6 3 F 7/02

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 G

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 10 月 13 日 (2005.10.13)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 3
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 2 3】

そこで、灰皿 1 0 を通常の灰皿として使用しない場合は、灰皿部材 1 9 が後退して内筒部材 1 8 内に収納され、案内突部 5 3 がスリット 4 4 a の後端部に当接すると共に支持板部 4 9 b が係止片 4 4 の爪部 4 5 に係止している。これに対し、灰皿 1 0 を灰皿として使用すべく灰皿部材 1 9 を外筒部材 1 7 の前方へ突出させた場合は、灰皿部材 1 9 が前側へ摺動してナイラッチ 5 2 の拡開部 5 2 a が前記内筒部材 1 8 の短筒部 3 5 内に挿入され、その中で抜脱不能に拡開する。また、前記垂直枠 4 8 b の下端角部が上方へ斜めに起き上がる停止片 3 8 の前端面に当接する。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 5
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 2 5】

図 4、図 5 は灰皿 1 0 を灰皿として使用しない状態を示し、この状態では灰皿部材 1 9 が後退して内筒部材 1 8 内に収納され、案内突起 5 3 がスリット 4 4 a の後端部に当接すると共に支持板部 4 9 b が係止片 4 4 の爪部 4 5 に係止しており、灰皿部材 1 9 の前後方向への無用な動きが停止されている。よって、遊技者が前側から灰皿部材 1 9 を前方へ引き出そうとしても不可能である。よって、このとき、この灰皿 1 0 は装飾機能を発揮するにすぎない。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 6
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 2 6】

これに対し、灰皿 1 0 を灰皿として使用する場合は、下部前板 5 b を前側に回動させ、その裏側に手を這わせて指先で係止片 4 4 をその弾性に抗して引き起し、爪部 4 5 と支持板部 4 9 b の上端縁との係合を解いた状態で、灰皿部材 1 9 を前方へ摺動させる。そして、図 6、図 7 に示すようにナイラッチ 5 2 の拡開部 5 2 a を挿通孔 3 4 を介して前記内筒

部材 1 8 の短筒部 3 5 内に挿入し、更に、ナイラッチ 5 2 の押圧部 5 2 b を押し込み、その中で拡開部 5 2 a を抜脱不能に拡開させる。また、同時に内筒部材 1 8 の停止片 3 8 が前記垂直棒 4 8 b の押圧から外れて自由になり、停止片 3 8 の先端部が上昇してその前端面が垂直棒 4 8 b の下端角部に当接する。これにより、灰皿部材 1 9 が固定され後方への無用な動きも停止される。このような状態で、遊技者は喫煙を楽しむことができる。